第223回近現代史教育研究会例会のお知らせ

日時　　2025年11月22日（土）　午後3時〜6時

会場　　青山学院高等部大会議室（西校舎2階）

報告者　阿部眞美氏（花咲徳栄高等学校）

テーマ　ジェンダー史の観点を授業でどう取り入れるか

参加費　500円（資料代・郵送費など）

　2025年6月、世界経済フォーラムが今年のGGI(ジェンダー・ギャップ指数)を発表しました。日本は前年度と同順位の118位(148か国中)で、G7の中で最下位となっています。政治・経済参画の分野で、特に指導的地位に女性が少ないことが大きな課題の1つであり、これは政治や経済を動かすのは「男性」であるというジェンダー・バイアスが現在も少なからず残っている証左であろうと考えます。

　そこで、歴史の授業で女性について取りあげることを通して、「女性は家庭」というジェンダー・バイアスが固定化された時代に着目し、生徒の関心を掘り起こそうと考えました。『歴史を読み替える　ジェンダーから見た世界史』を第一文献として、「アメリカ独立革命」と「フランス革命」、「ナポレオン時代」を題材に、世界史探求と歴史総合の授業でその当時の女性にまつわるテーマで行った活動を紹介し、今後扱いたいテーマも含めて報告させて頂きます。

　参加される先生方のご意見を伺いながら、ジェンダー史の観点を授業で取り入れる意義や授業の可能性についてともに考えていければ、と思っております。（阿部眞美）

＜参考文献＞

・三成美保・姫岡とし子・小浜正子編、『歴史を読み替える　ジェンダーから見た世界史』、大月書店、

　2024年。

・國分麻里編著、『女性の視点でつくるジェンダー平等教育　社会科を中心とした授業実践』、明石書

　店、2023年。

・歴史教育者協議会(歴教協)編、『世界と日本をむすぶ「歴史総合」の授業』、大月書店、2022年。

・大阪大学歴史教育研究会編、『市民のための世界史　改訂版』、大阪大学出版会、2024年。

本研究会の例会はどなたでも参加自由ですので、はじめての方も遠慮なくおいでください。

連絡先

〒150-8366　東京都渋谷区渋谷4-4-25　青山学院高等部　地理歴史科 小林和夫

　電話　03-3409-3880　　[kakobayashi@aoyamagakuin.jp](mailto:kakobayashi@aoyamagakuin.jp)